

教職センターだより

2025年11月28日 第5号
相模女子大学教職センター発行

秋学期講座に96名が参加

秋学期の講座は、10月の第2週から開講しました。今年度も、各学科の先生方や学修生活支援課の理解と協力を得て学内の学生への広報活動に力を入れてきました。講座数も年々増やしながら、受験生の多様なニーズに答えられるように工夫してきました。そのため、講座の申込も96名となりました。今後も丁寧な支援を行うために、協力体制のさらなる構築に努めていきます。

教育委員会による教員採用試験説明会

10月20日から、各教育委員会による教員採用説明会が始まりました。1年生から教員採用試験について意識を高くもつ学生が多く熱心に説明に聞き入っていました。説明会では、今夏教員採用試験の状況や次年度の採用試験についての情報提供がされました。また、学生からの質問に対しても丁寧に答えていただきました。今年度は、神奈川県教育委員会19名、横浜市教育委員会14名、川崎市教育委員会8名、相模原市教育委員会8名の総計49名の参加がありました。



教員・保育士採用試験受験者との交流会



11月20日に、教員採用試験を終えた学生たちと現在教員採用試験に向けて取り組んでいる学生たちとの交流会を行いました。壇上では、幼保、小学校(特別支援)、中・高・栄養教諭の代表が、試験勉強の方法やモチベーションの保ち方、教職センターの活用の仕方等熱く語ってくれました。その後は、グループ別に5教室に分かれ、在学生との座談会を開きました。在学生には、充実した時間を過ごすことができました。アンケートでは、多くの感想をいただくことができました。

《 アンケートより 》

「座談会を通して、教職センターという場所や、1年生である今から行うべきことなどを知ることができた。受験者と直接お話することができてとても楽しかった。」「体験談を聞いて、今後の学習や採用試験に向けて対策などもこの会を活かしてしっかり取り組んでいきたいと思った。」「何も分からぬまま参加してみたけど、受かった先輩方の雰囲気やお話を楽しくかかわりやすく、まずは、見学や調べることを怠らずに頑張っていきたいなと思いました。ありがとうございました！」「教員になるまでの道のりでわからなかったことを聞いて勉強になりました。まだ定まっていなかった自分の意思を決める機会になったので本当に助かりました。受けよかったです。」「実際に合格した先輩のリアルな体験談を聞くことでイメージをふくらませてこれから講座に取り組むための大きな材料になりました。私自身しっかりと悩んで向き合って考えていくたいと思いました。」